

忘れられた童謡詩人 島田忠夫

2024.
5.17(金)▶7.22(月)



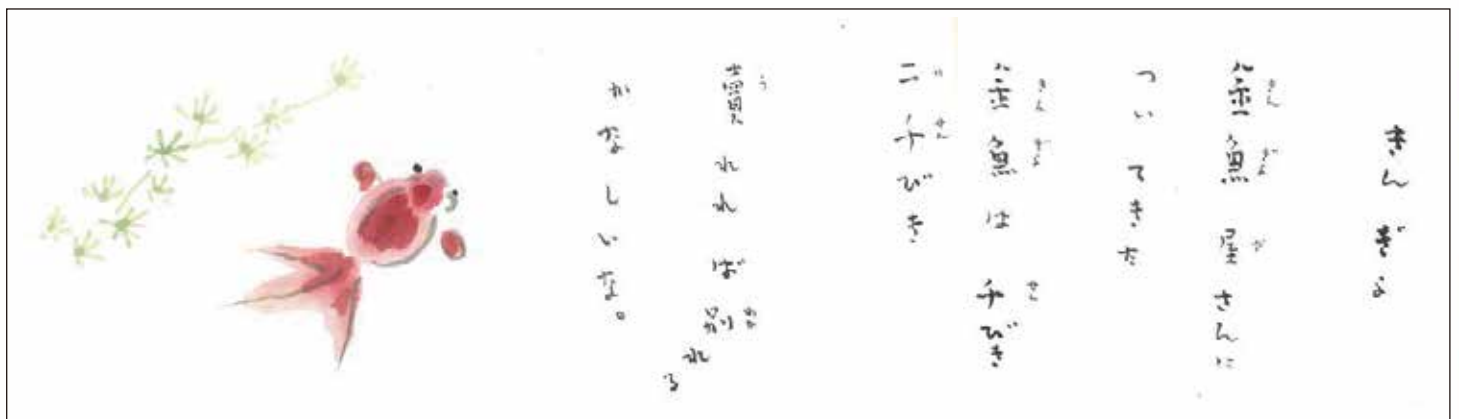
島田忠夫



ねぎぼうず 島田忠夫作・絵

大正中期に生まれた童謡は、童謡雑誌の創刊とともに、大正末期には大きな広がりを見せました。その中で彗星のごとく現れた童謡詩人金子みすゞは全国的に有名ですが、同時期に活躍した童謡詩人島田忠夫の名前を知る人は、今はほとんどいません。

今回の企画展では、島田の童謡を紹介するとともに、島田と交流があった生方家に残された島田の俳画・自筆原稿・掛軸・書簡などを展示します。



きんぎょ 島田忠夫作・絵

生方記念文庫

〒378-0047 群馬県沼田市上之町 199 番地 1 / TEL&FAX 0278-22-3110 / 開館時間 9:30
~ 17:00 / 休館日 水曜日、7月16日(火) / 観覧料 大人 110 円 (20 名以上の団体料金 60 円)
中学生以下は無料、障害者手帳等をお持ちの方および付き添いの方 1 名は無料 / 主催 沼田市教育委員会

忘れられた童謡詩人 島田忠夫

2024.
5.17(金) ▶ 7.22(月)



島田忠夫 1904 年（明治 37）～ 1945 年（昭和 20）

茨城県水戸市出身の歌人・童謡詩人・画家。歌人島木赤彦に師事。雑誌『童話』に童謡を投稿。



島田忠夫から美智子宛のハガキ

たつ系の夫誠と親交のあった童謡詩人島田忠夫が指南役となり、たつ系第一歌集出版に至るまでの手ほどきや、先生への対応の仕方、短歌についての細かい指導などを、たつ系に行っていたことが、島田からたつ系宛の書簡からわかっています。 誠宛書簡 60 通・たつ系宛書簡 43 通、美智子宛書簡 39 通。

美智子は幼い頃、島田忠夫から童謡の手ほどきを受けていました。美智子宛の書簡は優しさとユーモアに溢れていて、島田の子供に向けた暖かい眼差しが感じられます。

今回の企画展では、島田の童謡を紹介すると共に、島田と交流があった生方家に残された島田の俳画・自筆原稿・掛軸・書簡などが展示します。

また、同時期に活躍した童謡詩人金子みすゞについても紹介します。

関連行事

(1) 学芸員によるギャラリートーク

日にち 6月8日（土）、7月6日（土）

時間 午後2時～（30分程度）

定員 10名（申し込み不要）

場所 生方記念文庫展示室

無料 別途生方記念文庫入館料が必要

※(2) 要予約、電話または
直接文庫窓口へお申込みください。

(2) 詩の朗読ワークショップ

島田忠夫、金子みすゞの詩の朗読レッスン。朗読の基礎、声の出し方、テンポ、間の取り方などが、プロのアナウンサーから学べます。

講師 薮原 幸子（FMOZE アナウンサー）

日にち 6月15日（土）

時間 午後2時～3時30分

定員 20名

場所 旧日本基督教団沼田教会記念会堂ホール

無料 別途生方記念文庫入館料が必要



【交通の案内】バス JR 沼田駅 1 番バスのりば鎌田・戸倉方面（関越交通バス）

バス停 4 つ目上之町（6 分）下車

車 関越自動車道 沼田 IC から車で約 10 分

【駐車場】 旧沼田貯蓄銀行、天狗フラザをご利用ください。

【お問い合わせ】 〒378-0047 群馬県沼田市上之町 199 番地 1

TEL & FAX 0278-22-3110 生方記念文庫